

対馬釜山事務所だよ!

「ワー、バルダ!」 (ワー、速い!)

春かなと思ったら、町並みはいつの間にか夏の装いになっています。このような季節の変わりの速さ、または時間の流れの速さを「時は矢の如く過ぎて行く」と日本では表現しますね。しかし、この春から韓国ではその諺が変わりそうです。「時はKTXの如く過ぎていく」とです。ウ?・・・「KTX」って何の話なの?・・・と思うでしょう?

今回は韓国で初めて開通した「韓国高速鉄道(KTX)」の話をしよおうと思っております。

「韓国高速鉄道(以下KTXといいます)」は去る4月1日開通した韓国版の新幹線です。

建設方針の決定から開通までは約12年かかり、韓国人には随分期待をさせました。KTXは、時速300kmというすごいスピードが出て、鉄道距離の約400kmである、釜山 - ソウル間を2時間40分で行けます。既存の「セマウル号」が4時間半かかったことに比べたらほぼ半分の時間でいけるのです。いよいよ、韓国全域が日帰り生活圈になったのです。

私、このKTXの正式開通の前に乗ることが出来ました。それも、タダで!! ラッキー!!!

3月末の試運行の時、釜山 - 大丘の間を試乗することができました。乗る前から列車の形から内部のインテリアの隅々まで、観察に観察を重ねました。

まず、KTXの車両は空気の抵抗を最小限にするために、前後をサメの頭のような流線型に作っていました。乗り心地ですが、やはり車内での揺れや騒音は少なかったです。特に車両と車両の間、通路の騒音は車内と変わらないほどでした。ちなみに、セマウル号の車両間の通路では電話の音が聞こえないくらいです。車内は緑の椅子が淡い照明で照らされ、読書灯は別途用意されている面などは、ほぼ飛行機なみでした。

韓国鉄道長によりますと、KTXの開通により、日帰りの観光客と日本人の観光客が増えたそうです。特に、ソウルも釜山も中心部に駅が在るという便利さは、観光客のみならず多くの乗車客にとっても、かなり魅力です。

ここで、私、想像します。

いつか、日韓トンネルが出来たら、その中間に「対馬駅」ができ、対馬から釜山は20分で行く。九州までは1時間30分。韓国と日本はドンドン近づく。。。

ここで一つの確信を持ちました。過去も未来も対馬は日本と韓国を繋げる架け橋に間違いはないと。

一つ、忘れたことがありました。さる3月の釜山事務所便りに出したクイズの答えは「シルム」です。さて、クイズの内容を覚えていますか?



金 京一、辛 恩京